

射水市立作道小学校活動報告書

道の子ボランティア 2023

◆活動の取組状況

- **にこにこあいさつ運動**（全校、生活委員会）（中学生、PTA 役員）
生活委員会や担当学年の児童が、毎月 25 日に一緒に玄関前に立ち、登校する児童に挨拶をして、全校で元気な挨拶を心がけた。あいさつ名人を各学級で選び、相手の目を見て、大きな声で挨拶することを意識した。また、年に 2 回、中学生と PTA 役員の方と連携して合同挨拶運動を行った。
- **みんなで育てよう！道の子スマイルツリー**（全校、生活委員会）
生活委員会が「えがおになるための言葉や行動」を「スマイルアクション」として例示したりイラストやポスターにしたりして掲示した。学期に 1 回「スマイルウィーク」と題して強調週間を設定し、全校に笑顔であふれるような言動をするよう呼びかけした。学級毎に「えがおの花」を配布し、えがおになる言葉を言ったり行動したりできたかを週の最後に振り返り、えがおの花に振り返りを書いた。1 学期は「あいさつ」2 学期は「言葉遣い」3 学期は「自分も周りも笑顔になること」をテーマに取り組んだ。取組期間終了後、えがおの木に各学級の花を咲かせ、全校で笑顔があふれている様子を共有した。一人一人が人の気持ちを考えて行動できるような笑顔あふれる温かい学校になることを願って取り組んだ。
- **奉仕活動**（6 年生）
校舎内外の清掃活動を、6 年生がグループに分かれて取り組んだ。活動内容や計画は、6 年生が先生方に「清掃してほしい場所」のアンケートをとって、一生懸命清掃活動に取り組んだ。



にこにこあいさつ運動



みんなで育てよう！道の子スマイルツリー



奉仕活動

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

- **にこにこあいさつ運動**は、初めは挨拶を返すこともできない児童がいましたが、この活動を通して自分から挨拶することができるようになりました。1 年間取組を続けると初めよりも挨拶をする人が増えて、大きな声で挨拶が返ってきて嬉しかったです。
- 生活委員会が全校のお手本になるように元気な挨拶を意識して挨拶をしました。また、月ごとに学年の担当を決めて真剣に取り組むよう声をかけたことで、回を増すごとに気持ちのよい挨拶が返ってくるようになりました。
- **えがおの花をさかせよう週間**は、えがおがあふれる温かい学校になってほしいという思いを込めて全校で取り組みました。どの学級も意識して活動に取り組んだことで温かい言葉が数々の振り返りの花びらがたくさん掲示され、見るたびに嬉しい気持ちになりました。えがおの木に学級の花が咲き、学校中にえがおがあふれている様子が分かる活動なので、来年度も行いたいと思いました。
- **奉仕活動**は、6 年生全員が小学校への恩返しを込めて取り組みました。自分たちで取組場所や活動について先生方にアンケートをとって清掃箇所を決めました。全員ががんばろうという気持ちでやり抜く事ができ、やり終えて、きれいになった場所を見ると「やってよかった。」という気持ちになりました。

◆最後にひとこと（今後の抱負）

今年度は、昨年度に引き続き月に一度の挨拶運動を行ったが、初めはなかなか元気がなく、挨拶を返さない児童も見受けられた。生活委員会でもよりよい挨拶のできる学校にしていこうと教室に入る前に挨拶をする「笑顔であいさつ週間」を設けた。1 週間だけの取り組みであったが、できたらシールを貼っていったことで、継続しようとする意欲付けになったと思う。

来年度は、生活委員会を筆頭に、よりよい挨拶が習慣化できる方法を話し合い、全校に呼びかけたり一緒に挨拶の輪を広げられるような働きかけをしたりしていきたい。